

令和 3 年 10 月 6 日
学校法人ノートルダム清心学園
清心中学校清心女子高等学校
校長 三宅聖子（公印省略）

令和 3 年度 S S H 授業研究会について（ご案内）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて本校は、平成 18 年より S S H 研究指定を受け、女子の理系支援を促すためのカリキュラム研究、各種の研修や課題研究などさまざまな事業に取り組んで参りました。今年より第 4 期の指定を受け、さらに生徒の主体性を育み、深い学びへと導く手法について研究を進めております。このたび S S H 事業として、課題解決に繋げるための 3 つの思考法に基づいた授業を研究する中で、各教科および学校設定科目における教材開発について、下記の通り研究授業を行います。つきましては、校務ご多用のこととは存じますが、多数の皆様にご参加いただき、ご指導・ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

記

1. 日時 令和 3 年 11 月 12 日（金） 13:00 ～ 17:20
2. 場所 ノートルダム清心学園 清心中学校清心女子高等学校
3. 時程 13:00～13:30 受付 記念館 1 階
13:30～13:45 全体会（記念館 2 階会議室）
13:50～14:40 5 限 研究授業①
14:50～15:40 6 限 研究授業②
15:50～16:40 講演会（記念館 2 階会議室）
講師：叡啓大学ソーシャルシステムデザイン学部長・教授 保井俊之 氏
題名：ウェルビーイング中心デザインによる論理的思考、批判的思考及び水平思考による
能動型学習の設計と有効性検証：22 世紀型大学の叡啓大学での取り組み
16:40～17:10 研究協議
17:10～17:20 閉会行事

受付	全体会	研究授業①	研究授業②	講演会	研究協議	閉会
13:00	13:30	13:50	14:50	15:50	16:40	17:10

4. 申込み 参加申込書（別紙）に必要事項を記入し、FAX で送信して下さい。または同内容を下記のメールにお送り下さい。本校 SSH ホームページ (<https://www.nd-seishin-ssh.com/>) の入力フォームからの受付も行っております。
5. 参加形式 来校または zoom でのオンライン視聴（全体会、研究授業、講演会のみ）
6. 連絡先 清心中学校 清心女子高等学校 Tel：086-462-1661 Fax：086-463-0223
E-mail：tanaka-fu@nd-seishin.ac.jp（担当 田中）

本校第 4 期 SSH における SSH 研究授業のテーマは「課題解決に繋げるための、論理的思考（ロジカルシンキング）・批判的思考（クリティカルシンキング）・水平思考（ラテラルシンキング）を意識した授業展開」としています。これら 3 つの思考法を授業の中で組み合わせ、多様な発想の下で多面的な見方ができる力の育成を目指しており、その授業研究の成果を公開致します。このような授業改善と、さらには高大連携実習や課題研究の実施、科学系クラブ活動の充実と合わせて、次世代を担う科学技術系女性人材の育成を目指しています。さらに講演会においては、叡啓大学ソーシャルシステムデザイン学部長の保井先生をお招きし、「人と社会を前向きに変える人財（チェンジ・メーカー）を育てる」ための教育方法について提言させて頂きます。

【各教科の公開授業概要】

- 英語科（中1） 担当：植木彩香「場面に合わせた道案内を考える」
概要：道案内をする上で必要な表現を学び、Chromebook で地図を作りながら場面に応じた適切な道案内の順序を考察しながら発表します。街で出会う外国人観光客への道案内を想定し、リアルな場での英語の活用に向けて練習しながら、表現法の習得を目指します。
- 英語科（中1） 担当：マーク・ブランドン「Quenched Fire Found in Greenland Ice」
概要：Understanding volcanoes. Predicting and preventing volcanic disasters.
- 英語科（高1） 担当：ティムス・ブライアン「Leaf Chromatography」
概要：Students will collect leaves and use paper chromatography to determine the range of pigments in leaves. They will compare their findings with a similar activity conducted in early September. Students will write their results in the prescribed lab report format.
- 数学科（中3） 担当：村上航平「山頂から見える距離について」
概要：三平方の定理を利用し、日常生活の疑問を解決します。見通しをもって課題解決ができるように、何が分かればいいのかを明確にしてから、必要な情報は地理院地図などを利用して調べていきます。富士山山頂から見える距離を題材にした後は、生徒にとって身近である二子の丘から見える距離を考察します。
- 数学科（高2） 担当：綱島律子「正五角形の作図」
概要：長さ2の線分が与えられたとき、その線分を1辺にもつ正五角形の頂点の作図方法を考える。前時に学習した「正五角形の1辺の長さとお角線の長さの比」をどのように用いるのかを考察し、小グループで話し合った後、定規とコンパスを用いて作図する。また、作図方法の説明文を作成する。
- 理科（中2） 担当：池田理佐「魚は餌をどのように感じているのか」
概要：ヒトの感覚器官についての学習内容と視覚教材から得られる情報に基づき、魚が餌の認識にどの感覚を使っているか仮説を立てていきます。仮説を明らかにするための実験方法について、個人で広げたアイデアをグループで整理・分類し、実行に最適な方法を選択することを目指します。
- 理科（高1） 担当：山田直史「一人一台 Chromebook を使った実験結果の考察」
概要：実験において、結果と考察の違いが曖昧な生徒は多い。前半は実験結果を用いて、スプレッドシートを使って統計やグラフ作成を行う。後半は、考察を個人で行った後に、Meet を用いてグループで発表を行う。
- 情報科（高1） 担当：坂部高平「非調査データを使ったクラスター分析」
概要：データ解析の工程として、準備→要約→分類→予測のうちの「分類」の工程を実際の非調査データを使って考えます。ここでは、クラスター分析での分類を各自で試みます。さらに、お互いの結果を持ち寄って、グループワークで分析結果を検討することで、さまざまな思考パターンを身に付け、お互いを高め合う可能性に気づくことを目指します。
- 国語科（中3） 担当：太田菜津子「観察・分析をとおして評価する」
概要：芸術作品や文学作品の鑑賞文を書く際、「～と思った」「～感じた」と感想を羅列することはできて、自身の感覚を適切に言語化し、その根拠にまで言及できる生徒は少ない。本授業では実際に作品鑑賞を行いながら、①自身の感覚を言語化して適切に表現する、②作品から得た感覚の根拠を言語化する、という2点を目的とした活動を行いたい。
- 国語科（高2） 担当：小山潤子「杜牧「題烏江亭」から考える～「もしも項王が江東に戻っていたら」～」
概要：既習の「項王の最期」（司馬遷『史記』『項羽本紀』より）を題材とした杜牧の詩を通し、もし項王が江東に戻っていたらどうなっていたか、ロジカル・クリティカル・ラテラルの三つの考え方を意識して考えます。
- 社会科（中2） 担当：内藤良祐「絵画から探るルネサンス」
概要：イスラムとの出会いによって生じた古代文化への憧れ。キリスト教文化と密接なつながりをもつ西洋美術の作品を考察し、当時のヨーロッパ社会の価値観の大変が現代にもたらした意義について、歴史学と美学の観点から考察します。
- 地歴公民科（高2） 担当：花田康平「清朝の異民族支配から考える多文化共生社会」
概要：満州民族の征服王朝である清朝の異民族統治の方法を考察します。加えて、現在の中国など多民族が混在する国家の問題点を比較しながら相対化し、未来における多文化共生社会のあり方を探ります。

【講演会について】

○講師：叡啓大学ソーシャルシステムデザイン学部長・教授 保井俊之 氏

○題名：ウェルビーイング中心デザインによる論理的思考、批判的思考及び水平思考による
能動型学習の設計と有効性検証：22世紀型大学の叡啓大学での取り組み

○講師紹介：保井俊之（やすいとしゆき） / ※1962年生まれ。

1985年に東京大学教養学科卒業後、旧大蔵省入省。OECD勤務、在インド日本大使館勤務、金融庁参事官、財務省政策金融課長、同地方課長、地域活性化支援機構専務執行役、同常務等を歴任。2016年より、在ワシントンでラミカリブ地域のための国際開発金融機関である米州開発銀行の日本他6か国代表理事。2008年より慶應義塾大学大学院で教壇に立つ。国際基督教大学博士(学術)。併せて、国際基督教大学大学院で非常勤講師、さらに中央大学、九州工科大学及び政策研究大学院大学で客員教授を務めた。米国PMI認定Project Management Professional。日本創造学会評議員、地域活性化学会理事。



【本校へのアクセス】

- ・倉敷インターチェンジから岡山方面に10～15分（校内に駐車スペースがございます）
- ・JR中庄駅からタクシーで10分



[別紙様式]

ノートルダム清心学園清心中学校・清心女子高等学校

令和3年度SSH授業研究会 参加申込書

学校 (所属)	学校名： (所属名)
	TEL：

職名	参加者名	教科	研究授業 (参観希望に○をお付け下さい) ※複数回答可	参加方法 ※○をお付け下さい
	代表者 E-mail ()		英語 ・ 数学 ・ 理科 ・ 情報 国語 ・ 社会 ・ 地歴公民	来校 オンライン
			英語 ・ 数学 ・ 理科 ・ 情報 国語 ・ 社会 ・ 地歴公民	来校 オンライン
			英語 ・ 数学 ・ 理科 ・ 情報 国語 ・ 社会 ・ 地歴公民	来校 オンライン
			英語 ・ 数学 ・ 理科 ・ 情報 国語 ・ 社会 ・ 地歴公民	来校 オンライン
			英語 ・ 数学 ・ 理科 ・ 情報 国語 ・ 社会 ・ 地歴公民	来校 オンライン

11月1日(月)までに Fax または E-mail でお申し込み下さい。

Fax : 086-463-0223

E-mail : tanaka-fu@nd-seishin.ac.jp

なお、以下の QR コードを読み取った先の、参加登録フォームからの申し込みも受け付けております。

